

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）で、
『月や海の力が生み出すエネルギーを使う“潮流発電”を体感できます』
～九電みらいエナジーは、電力館への協力を通じて、次世代エネルギーの可能性を広く紹介～

電力館 可能性のタマゴたち



2025年4月13日、大阪・夢洲で「大阪・関西万博」が開幕しました。この万博で、私たち九電みらいエナジーは電気事業連合会が出展するパビリオン「電力館 可能性のタマゴたち」に、協力企業として参加しています。

「電力館 可能性のタマゴたち」は、「エネルギーの可能性で未来を切りひらき、いのち輝く社会の実現へ」をテーマに掲げ、カーボンニュートラルのその先を見据えた未来社会を描く展示館です。ここでは、電力業界ならではの視点から、約30種類の未来のエネルギーを紹介し、来館者がその可能性を楽しく学べる体験型の展示を提供しています。

私たちは、この展示館の中で「潮流発電」の体験コンテンツと技術展示の企画・制作に携わりました。潮流発電は、発電量の予測がしやすく、安定した電力供給が可能な海洋再生可能エネルギーとして、今注目を集めています。私たちは、この潮流発電の可能性を広く発信し、未来のエネルギー社会に貢献することを目指しています。

体験コンテンツでは、特大スクリーンでゲーム要素を取り入れた展示を通じて、潮流発電の仕組みや特徴を直感的に理解できるように工夫されています。また、技術展示エリアは、壁一面に広がる図鑑をコンセプトとした空間。潮流発電など未来のエネルギーの仕組みが詳しく解説されたパネル展示で、体験を振り返りながら、私たちの身近なところに多くのエネルギーの可能性があることを実感していただける内容となっています。

「大阪・関西万博」は、2025年10月13日まで開催されます。会場にお越しの際は、ぜひ潮流発電の魅力と可能性を体感してください。未来のエネルギーが、ここから始まります！



「電力館 可能性のタマゴたち」について

電力館は、カーボンニュートラルのさらにその先を見据え、社会の基盤を支える電力業界ならではの視点で未来社会を描きます。エネルギーに関する“可能性のタマゴ”を数多く体験することで「エネルギーの可能性で未来を切りひらく」ことを感じていただけます。

また、外観をボロノイ構造※のタマゴ型にするとともに、膜の色を天候や時間帯などによって多様に見え方が変わるシルバーにすることで、未来に向けた多くの可能性を表現し、自然や周囲の環境との調和も目指します。

※ボロノイ構造とは、自然界の蜂の巣やキリンの模様などに見られる、効率的な空間分割の原理に基づいたデザインです。この構造を建物に用いることで、各区分が周囲の要素との関係性を最適化し、均質でありながら変化に富んだ空間を生み出すことができます。